

郡上・九条の会

変えたらだしかん、世界の宝 憲法九条

郡上・九条の会ニュース（会報）

2020年1月発行 No. 87

立場の違いを超えて

平和を願う人たちのつながりを！

発行 501-4452 郡上市八幡町美山2249-1 曾我敬次方



今回より通信は会員向けとなります。この10年間で九条の会が果たしてきた役割は歴史の審判を待たなければならないのですが、この通信が少なからぬ貢献をしてきたと自負しています。あれから内外の情勢は大きく変化しています。では若い人は九条の会をどう見ているのか聞いてみました。

良くも悪くも九条にとらわれてる感じがあります。「台風来るな—って言うてるから台風は来ない」みたいなイメージでしょうか。九条があるから戦争で攻められないし、守られてる、と主張されているイメージでしょうか。みんな戦争は反対、でもそれだけでは守れないから憲法改正の議論があるのだと理解しています。

国民の90%の人が戦争は反対と言っています。その中の数十%の人が、安倍内閣も戦争をするとは思っていません。この意見を受け止めて、今回のニュースのテーマを次のようにしました。

どうしたら平和になりますか

最初に保阪正康さんと半藤一利さんの対談の一部を紹介します。保阪さんが次のように言っています。

左翼の人は「戦争はいけない」としか言わない。戦争が悪いと言う以前に、戦争がどうやって起こるのかというメカニズムを説明すべきなんです。……(中略)

戦後の言論で最大の間違いだったのは、日本国憲法を「平和憲法」と実に無反省に呼んでしまったことだと思うんですよ。あれは、平和憲法などではなく、「非軍事憲法」と呼ぶのがふさわしかったんです。だって、「平和」は最終目標であり、未だ実現されていない理想ですからね。なのに、「日本は平和憲法を持っている」なんていうと、目標に到達したことになってしまいます。平気で自分たちの憲法を「平和」だと言った瞬間から、日本の国から努力目標が消えてしまった。……

確かに憲法前文には「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。」と書いてあります。そして、何よりも私たちには平和であるとは言えない状況があり

ます。この状況についての意見。

それはね、身の回りの人が今の政治状況が余りにもひどすぎると気づくようにすることだと思う。要するに今のジミントーじゃダメだと気づくようにすること。ほかっておいたら気づかないから気づくようにすることだ。具体的には話しかけることをすること。

それには、まず聞いてみる、今って平和だと思う？ 今の政治ってどう思う？って。そして分からないとか、政治の話なんて興味ないとか、どーでもいいとか言う人には、でもね今はこうなんだよと一番関心のありそうな話題を振って、どうって聞く。自分だってあんまり分からないのだけど、でもひどいことが行われているんじゃないと聞いたりする。そういう意見を言う自分を出すことが大事だと思う。いわゆるカミングアウトだ。 曾我

「意見を言い合うこと。対話を広げること」はとても大事なことです。そのためにはまず自分の意見を語ってみる。でも、それは聞いてくれる人がいることが大前提。この大前提がない限り批判が批判にならない。ところが国会の討論を聞くと批判を聞く姿勢がない。悲しくなります。私は批判が真っ当に通じ合うことが平和ではないかと思えます。

ところで、ジミントーではだめと言っても、変わってもまた同じことじゃないかと思っている人が多いように思います。人は過ちをおかすものです。私自身がそうですから。こう思っている人に「ダメだ」だけでは通じないように思えます。批判は簡単だけど実際に行動することは難しいと。

「どうしたら平和になるか」と考え合い、話し合うことを続ける。それが平和への道を開くと思います。では、続けるためにはどうするのか。今、私は次の2つが大切だと考えます。

- 1、誰もが平和を願っているという、信頼と敬意（今、流行のリスペクト）の念を持ち続けること。なによりも大切だと考えます。
- 2、次に、「自分が正しいと、思った時から間違いが始まる」という言葉。今一番輝く言葉ではないかと思えます。

「俺の言うことが、なぜ聞けん！」と叫ぶ、私の毎日。振り返れば、過去の戦争のほとんどが、「正義」を語って始められたこと。「なんとかファースト」が公然と跋扈する現在の世界。この言葉の輝きを証するものではありませんか。「自分を振り回す姿を問う」ということが大切だと考えます。 岩佐

誰もがそれぞれの感性と考えで平和を願っているということ、このリスペクトを無くしては対話はあり得ないということですね。問題は2ですね。これは私の中にもあります。だからいつも自分を振り回しているのではないかと心配になるのですが、この場合、私の意見を言えたこととそれを聞いてくれた人がいることがとても救いになります。例えば、今までのご意見は、それぞれ異なっています。相手に対するリスペクトを前提にしたとき、まず受け止めるということが大事だと感じました。

闇は光に勝てない
うそはまことに勝てない
真実は沈まない
私たちあきらめない

この短い詩をシンガーソングライターの川口真由美が、繰り返し歌っています。私はこの歌が大好きなんです。この歌の詞には何とも胸に響くものがあります。「沖縄・平和を歌う『人の力』」と題したCDに収録されています。尚、作詞・作曲は、ユン・ミンソク（韓国の人のようにです） 畑佐

こころに響く詩ですね。闇は光があってこそあるのだし、光は闇があってこそ輝くのだと思うと闇と光は対立するものではないように感じます。うそとまことも同じように感じます。でも、「真実」が光り輝くのは、そこに「人の悲しみ」があるからだと思えます。歌はその「人の悲しみ」を表現しているから心を打つのだと思えます。でも、それが届かない時代です。（沖縄の）悲しみがわからない時代、これこそが悲しいことだと思えます。こういう時代に「どうしたら平和になりますか」という問いは意味を持たないのでしょか？

今日久しぶりに野田さんとスタンディングをしました。もみじ祭りの最中の日曜日なので観光客が夏並みにとても多かったです。九条を守る訴えとともに今話題の「桜を見る会」についてもスピーチし、あらゆることを私物化している安倍首相をやめさせるため共に頑張りましょうと訴えると、観光客の皆さんから盛んな拍手を頂きました。

以前はスピーチの途中に「こんなところでそんな話聞きたくない」などと言われたこともありましたが……。今回よほど共感なされたのでしょうか。私もテレビで国会中継など見てて胸のすく発言に、つい拍手することがあります。 加藤

はるか昔の写真ですが……



拍手が起きるなんてすごいですね。どうして拍手が起きたのでしょうか。この政治の私物化に怒っている人が多いということですね。スタンディングの場は意見を出す場であり、いろいろ考えることも大事だけど行動をおこすことこそ大事だということはその通りだと思います。でも、なかなか勇気が出ないんですね。

ローマ教皇が訪日して様々なメッセージを残していきました。

ローマ教皇の言葉読みました。「**軍備の均衡が平和の条件であるという理解を、真の平和は相互の信頼の上にしか構築できないという原則に置き換える必要があります**」そして相互不信をなくすために対話が大事だと言っていますね。それは難しいけれど飽くなき追求だと言っていますね。信頼を持つことだと。ところで、上村さんの言う「ちなみに私は、身の回りで平和を実現することが大事だと感じています。」とは具体的に言ったらどういうことなのでしょう。 曾我

「対話」だと思います。ただ、これが難しい。パートナーとの対話さえなかなか成立しません。だから今は「対話」の仕方を学んでいる最中です。事務局会で大きな「システム」の話が出ました。それを知ることはできても変えることは困難だと。それでも知らなければいけないことがあるのですが、この「システム」を作った人たちもコントロールできていないという所に私は怖さを感じています。大きなシステムは人間には決してコントロールできません。(AIでも!) 対話は数人としかできません。それは私の身の丈にあった範囲のことです。でもそれをコントロールできるとは思っていません。仏教ではコントロールできるものではないということを教えています。だから対話は創造的であり面白いのだと思います。

「取り立てての平和運動」と「日常活動の中の平和」

私たちは平和運動と大きくかまえなくても、日々の生活の中で平和を求めて様々な活動をしています。そういった活動の積み重ねの上に私たちの平和を求める気持ちが深まり、憲法が実現されていくのだと感じます。後はその日常をつなげるネットワークです。そのネットワークに九条の会がなればよいと願っています。

上村

郡上・九条の会 2月の集会案内

と き：2月14日(金) 13:30より

ところ：郡上市総合文化センター4F

内容：中村哲さんの講演ビデオと意見交流「みんなで考えよう日本の平和」

「私たちは平和のうちに生きている?」「戦争してないから平和?」「そもそも平和って何?」「戦争ってどうして始まるの?」「今の状況って戦前の日本に似ているってほんとう?」「若い人はどう思っているの?」……

私たちは知っているようで知らないことが多いのではないのでしょうか。憲法12条には自由や権利は不断の努力で保持しなければならない、と書いてあるけれど不断の努力をしているのでしょうか。戦争はイヤだと誰もが思う今、でも不断の努力をしないと危ないのも今ではないのでしょうか。中村哲さんが歩んだ道からは何かが見えてくる気がします。みんなで思いを語り合ったり、平和について対話を重ねたりすることが今求められている気がします。でも余り難しく考えないでざっくばらんに思いを語り合うことができる集会にしたいと思います。お気軽にお越しください。

「郡上・九条の会」はこんなことをしています

- 1、映画や講演会などの集会(ふた月に一度程度、年に一度大集会)
- 2、ニュースの発行(ふた月に一度程度)
- 3、街頭宣伝・スタンディング(月に一度程度第3日曜、八幡、大和、白鳥が中心)
- 4、署名活動(現在は全国3000万署名を中心に)
などです。

- ・街頭宣伝・スタンディングはどなたでも自由に参加していただけます。
- ・署名はこれまで3000名を超える方にいただきました。なお継続中です。
- ・活動に対してご意見ご要望等ありましたら事務局までお寄せください。

この先もずっと、
戦争放棄

安倍9条改憲NO!

カンパのお願い：九条の会の活動は皆さまのカンパ等で賄っております。これまでカンパをお寄せくださった皆さまに深く感謝を申し上げます。さらなる運動のために出来る方はカンパをお願いします。

振込先：ゆうちょ銀行 記号：12410 番号：30522601 グジョウキュウジョウノカイ